



No.020

能登北部地域医療研究所



# のとけんだより

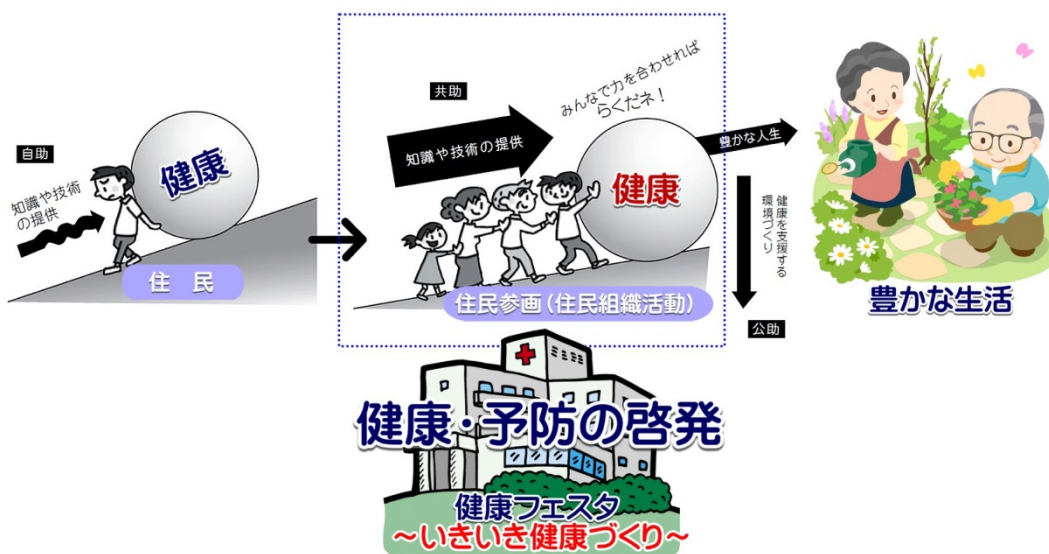
2014.9.4

健康長寿まちづくりプロジェクト

## あなみず総合病院 健康フェスタで、金沢医科大学病院の高度先進医療を紹介

— 能登北部地域医療研究所が地域医療連携を推進 —

高齢化社会の急速な進展する中、健康や医療・福祉に対する住民の視点やニーズも大きく変貌している。その一方、本県においては医療の地域間格差は拡大傾向にあり、過疎地域においては医師や医療従事者の確保の困難、患者の圏外流失等の諸問題が悪循環している実情があります。穴水町民の誰もが「いきいきと健やかな暮らしができる元気な“まち”」の実現に向け、平成25年度より「健康長寿のまちづくりプロジェクト（同推進協議会 会長：中橋 毅）」が展開され、健康長寿講座、あなみず地域医療塾、健康ウォークなど具体的な活動が行われています。



今回開催された事業「あなみず総合病院 健康フェスタ2014」は、**町民全員が健康増進・疾病予防の重要性への気づき**をねらいに、8月31日（日）公立穴水総合病院（石川県鳳珠郡穴水町）にて大々的に開催され、来場者は500名を超える盛況ぶりでした。

当日は、第2回健康長寿講座（講師：北村立先生／石川県立高松病院院長／テーマ：認知症をしろ～その人らしく生きるために重要なこと～）、健康チェックコーナー（体組成テスト、骨密度検査、物忘れチェックテスト、メタボ測定 CT 検査、眼測定、ロコモチェック）、健康相談（中橋毅教授他）、生活習慣病予防食の実食、金沢医科大学病院高度先進医療の情報提供・同病院がん相談支援センター紹介（能登北部地域医療研究所スタッフ／中橋毅教授・濱中豊課長・橋本外次）など多様な内容でした。

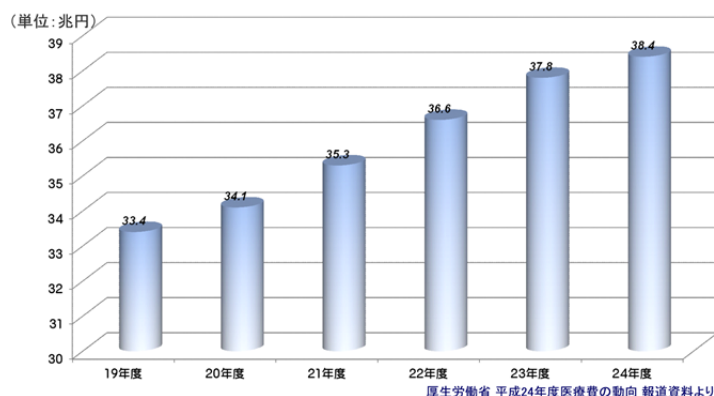
金沢医科大学病院ブースを訪れる町民の皆さんは、“がん”の予防や治療に関心が高く、金沢医科大学病院「がん相談支援センター」が提供するがん情報パンフレットは、あっという間になくなるという状況でした。また、がん人間ドックについても、多くの相談があり、終日来客の対応に追われている状況でした。

厚生労働省は、2014年8月26日、2013年度の医療費（概算）の総額が39・3兆円（前年度比2・2%増）に上り、過去最高額を11年連続で更新したと発表がありました。



国民1人当たりの医療費は平均30・8万円（同2・4％増）で、後期高齢者にあたる75歳以上では92・7万円、75歳未満は20・7万円だった。後期高齢者の医療費は14・2兆円で、全体の36・1％を占めています。

### 平成 24 年度 国民医療費の動向



高齢になっても介護を必要とせず、自立して生活できる期間をできるだけ延ばしていくことは、超高齢社会へ向けた大きな課題です。2014年版の厚生労働白書は、「健康長寿社会の実現に向けて」をタイトルに、「健康寿命の延伸」をメインテーマに掲げています。健康寿命は、健康上の問題で日常生活が制限されず、家族などの手を借りることなく暮らせる年数のことです。日本では、2010年時点で男性70・42歳、女性73・62歳と世界最高水準にあり、年々延びています。

ただし、平均寿命（13年）の男性80・21歳、女性86・61歳と比較すると、いずれも10歳前後の開きがある点に留意すべきです。この差は、介護や医療への依存度が高くなる期間を意味しています。

健康寿命より平均寿命の延びが大きいと、拡大する傾向にあり、できる限りこの期間を短縮することが、高齢者一人一人の生活を充実させるために欠かせません。寝たきりにならず、健康に過ごせる期間が延びれば、医療・介護費の抑制効果も期待できます。



〇問い合わせ（濱中・橋本・濱崎）  
能登北部地域医療研究所（公立穴水総合病院内）  
電話 0768-52-0655 FAX0768-52-0658  
E-mail ccm@kanazawa-med.ac.jp  
〒927-0027 石川県鳳珠郡穴水町川島タ-8